

評価者	環境部長	能條 裕子
-----	------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	海浜の環境保全
目標とすべきまちの姿	関係機関等との連携により、海浜が適切に保全されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	17.8%	平成30年度(2018年度)	15.2%	平成29年度(2017年度)	17.0%
	平成28年度(2016年度)	17.6%	平成27年度(2015年度)	17.6%		

(2) 妥当性

**令和元年度(2019年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.6%	1.1%	0.5%
ちょうどよい	1.6%	52.0%	2.1%
効果不十分	1.3%	4.3%	14.1%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成30年度(2018年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.3%	1.5%	0.3%
ちょうどよい	1.2%	52.6%	3.3%
効果不十分	1.7%	4.5%	14.0%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成29年度(2017年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.0%	1.4%	0.2%
ちょうどよい	1.4%	53.8%	1.8%
効果不十分	2.5%	4.2%	13.0%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成28年度(2016年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.4%	1.2%	0.4%
ちょうどよい	2.0%	53.8%	0.2%
効果不十分	1.6%	4.8%	13.1%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成27年度(2015年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.7%	1.7%	0.1%
ちょうどよい	1.7%	51.4%	1.6%
効果不十分	2.3%	2.9%	14.0%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**(3) 今後の進め方**

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	23.5%	52.2%	1.6%	22.7%
平成30年度(2018年度)	27.1%	50.6%	1.5%	20.8%
平成29年度(2017年度)	23.4%	52.4%	1.8%	22.5%
平成28年度(2016年度)	21.3%	54.5%	1.6%	22.6%
平成27年度(2015年度)	24.9%	49.5%	1.9%	23.7%

**2 内部評価**

**(1) 令和元年度(2019年度)の目標**

①海浜が市民や来訪者等が安全かつ快適に過ごせ、適切に保全されるよう、神奈川県や公益財団法人かながわ海岸美化財団等と連携し、海岸清掃や海岸利用のマナーの周知等の海岸美化の取組を進めていく。(環境-18)  
 ②神奈川県、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市の連携によりサーフ90ライフセービング支援事業により、海岸保全に取り組む。(環境-19)

**(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性**

①神奈川県や公益財団法人かながわ海岸美化財団と連携して、材木座から腰越までの海岸清掃を通年で実施することで海岸の美化の維持につながる。(環境-18)  
 ②ボランティアによる清掃活動や海岸の管理者である神奈川県や鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市が連携して、海岸保全や適正な利用を啓発を行うことにより、海岸の保全維持につながる。(環境-19)

**(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)**

評価対象事業名	決算値(千円)		職員数(人)		法定受託事務	今後の方向性	
	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)		事業内容	予算規模
環境-18 海岸清掃事業	12,373	21,615	1.0	1.0	無	b	B
環境-19 海浜保全事業	448	439	1.0	1.0	無	b	B

**(4) 主な実施内容**

**【主な実施内容】**  
 ①公益財団法人かながわ海岸美化財団と連携し海岸清掃事業を行った。(環境-18)  
 ①ごみの散乱防止の普及啓発事業としてクリーンアップかまくら(海の部)を年2回(春・秋)行った。(環境-18)  
 ②海岸利用者の安全確保を図るため、サーフ90ライフセービング支援業務を行った。(環境-19)

**【実施できなかった事業とその理由等】**

**(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価**

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善

**<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>**  
 ①公益財団法人かながわ海岸美化財団と連携し、海岸に打ち上げられた漂着ごみや観光客が出した海岸のごみの清掃回収業務を行い、海浜保全の維持を図ることができた。また、ごみの散乱防止の普及啓発事業としてクリーンアップかまくら(海の部)を実施して、市民等の美化意識の向上の機会となった。(環境-18)

**3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)**

整理番号	環境-18、-19	事業名	海岸清掃事業、海岸保全事業		単位	回	指標の傾向	⇒	備考
指標の内容	ボランティアによる清掃活動回数								
当該指標を設定した理由			年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
市民主体型の漂着ゴミ清掃活動実施回数が、市民意識の高まりと海岸保全状況をはかることができるため			目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
			実績値	3.0	3.0	2.0	3.0	3.0	2.0
			達成率	100.0%	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	66.7%